

Ⅲ 入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)

佐賀大学の求める入学者

佐賀大学は、学生と緊密にコミュニケーションできる総合大学として、人格形成、専門知識・技術の修得、そして基礎から実用開発にいたるまで、能力を最大限に伸ばすことを目標に人材育成と研究活動を展開します。

佐賀大学の教育目標は、高度情報化社会で活躍できる情報基礎と専門知識を修得させること、地域文化を理解し地域に根ざした活動を行うための素養を持たせること、国際化時代にふさわしい異文化理解とコミュニケーション能力を修得させることです。

佐賀大学は、チャレンジ精神を持ち、問題を自発的に探求・解明し、社会に貢献できることを人生目標とする学生を求めています。

教育学部

求める学生像

【教育目的と入学後の学習に必要な能力や適性等】

教育学部は、幼児・児童・生徒の心身の発達を長期的・連続的かつ多面的・多角的な視点で見据えながら、広い視野と深い教養及び基礎的・専門的な知識・技術を修得することで、現代社会の変化に伴う様々な教育課題や幅広い地域の教育課題に応えることができる、人間性豊かで高度な実践力をもった教員の養成を目的としています。そのため、以下に示すような人を広く求めます。

- (1)現代社会の幅広い分野の諸問題に興味・関心をもつとともに教員を目指す強い意志と情熱をもち、子どもの教育と社会的活動に関わる問題解決に意欲的に取り組む人。
- (2)高等学校までの教科等の学習に基づく幅広い基礎的学力や技能を備え、専門職としての教員に必要な知識・技能の修得に積極的に取り組む人。
- (3)主体的な行動力や他者との基本的なコミュニケーション能力をもち、多様な人々と協働して学ぼうとする人。

また、本学部のカリキュラムに適応するのに必要な入学時の能力や適性等及び入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組みは以下の通りです。

カリキュラム編成	カリキュラムに適応するために必要な入学時の能力や適性等
教養教育科目 (インターフェース科目を除く。)	自然科学と技術の分野、文化の分野及び現代社会の分野に関する基礎的な知識を修得するために、専門に関する特定の教科や科目に留まらない幅広い知識や考え方を身に付けておくとともに、外国語科目(英語)を履修するための基本的な英語の学習力が必要です。
教養教育科目 (インターフェース科目)	現代社会の諸問題との接続を意識した問題発見能力や解決能力を修得するために、現代的な課題や事象に対する興味・関心だけでなく、学生同士のグループ学習やプレゼンテーションなどを含むアクティブ・ラーニングを積極的に行っていくための主体的な行動力や学習態度が必要です。
専門教育科目	<ul style="list-style-type: none">●グローバル人材を育成する教員に必要な英語コミュニケーションに関する科目を学ぶため、英語に関する基本的な能力と学習力が必要です。●教育実習のように、実際の教育現場における学習活動を行うため、主体的な行動力や他者との基本的なコミュニケーション能力が必要です。●教育学の基礎的な知識・理論、各教科の教育内容やその学習指導方法、障害のある幼児・児童・生徒に対する教育、並びに幼児教育・小学校教育・中学校教育の各教育段階のあいだの円滑な接続や連携に関わる科目を学ぶために、高等学校までに学ぶ幅広い教科・科目の知識と技能が必要です。●教育のプロフェッショナルとして課題を発見し、それらを解決する能力を身につけるため、高等学校までに修得した知識・技能を活用して問題解決に繋げることができる思考力・判断力・表現力が必要です。

(入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み)

小中連携教育コース

文系、理系に偏らず、高等学校で履修する全ての教科・科目について、基礎的な知識を幅広く学習し、自分の考えを分かり易く文章や口頭で表現できることが必要です。なお、技能が重要視される教科については、基礎的な技量をあわせて修得しておくことが求められます。将来、小学校や中学校などの教師として活躍するためには、初等教育や中等教育をめぐる諸問題に対して幅広い視野と強い関心を持ち、読書などを通して自分自身で考えておくことが必要です。大学入学前にボランティア活動や学校内外での諸活動など、教育に関わる何らかの実践を経験できる機会があれば、積極的に挑戦することを期待します。

上記のことに加え、自らの学習活動や取り組みなどを通して、周囲の学生にも良い刺激をもたらすことで、本コースの教育・研究活動を活性化できる「主体的に学ぶ態度」を持った学生を歓迎します。

教育支援探究コース

高等学校で履修する全ての教科・科目について、基礎的な知識を幅広く学習し、自分の考えを分かり易く文章や口頭で表現できることが必要です。将来、教師として活躍するためには、教職についての意欲と関心を培い、幼児教育や初等教育、特別支援教育をめぐる諸問題に対して強い関心を持つことが必要です。大学入学前にボランティア活動や学校内外での諸活動など、将来教師になるにあたって糧となるような何らかの実践を経験できる機会があれば、積極的に挑戦することを期待します。

上記のことに加え、自らの学習活動や取り組みなどを通して、周囲の学生にも良い刺激をもたらすことで、本コースの教育・研究活動を活性化できる「主体的に学ぶ態度」を持った学生を歓迎します。

入学者選抜の基本方針

教育学部では、大学入学までに身につけておくことが期待される資質・能力として、高等学校までの学習に基づく基礎的な学力や技能に加え、子どもの教育に対する幅広い関心と情熱、論理的思考力、コミュニケーション能力を重視しています。

上記のような学生を選抜するための基本方針として、入学志願者の基本的人権を尊重し、公正かつ妥当な方法により多様な選抜を実施します。そして、本学部では、以下の各選抜方法によって、大学入学後の学修に必要な能力や適性等を多面的・総合的に判定し、合格者を決定します。

選抜方法	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」と「後期日程」の入試区分により、入学者を選考します。
特別選抜	一般選抜では評価が難しい多様な能力や資質を有し、本学部への志望動機が明確で意欲的な入学希望者を対象とし、「学校推薦型選抜」、「総合型選抜」の入試区分により、入学者を選考します。
私費外国人留学生入試	外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、私費外国人留学生を対象とし、入学者を選考します。

入試で評価する入学後の学習に必要な能力や適性等

■小中連携教育コース

- ① 高等学校で修得すべき幅広い知識・技能と、これらを踏まえた基本的な思考力・判断力
- ② 国内に限らずグローバルな視点で情報収集、情報発信できる英語の読解力と表現力
- ③ 専門分野の内容を深く理解するために必要な数学あるいは国語に関する知識・技能と、これらを踏まえた思考力・判断力・表現力
- ④ 専門分野に関する文献や資料等の読解力と理解力及び自らの考えを論理的にまとめる表現力
- ⑤ 英語、理数、音楽、保健体育、家庭、技術のいずれかの分野に関する高い意欲・関心と、その分野に関する特に優れた知識と技能
- ⑥ 教師を目指そうとする意思
- ⑦ 将来、小・中学校教員としての活躍を期待できる十分な意欲と姿勢
- ⑧ 将来、佐賀県下の小学校教員としての活躍を期待できる十分な意欲と姿勢
- ⑨ 自ら学びを深めようとする行動や姿勢を通して、本学部の教育・研究活動を活性化できる可能性

入学後の学習に必要な能力や適性		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
学力3要素との対応		「知識・技能」		「思考力等」		3要素全て	「主体性等」				
選抜方法	前期日程	共通テスト	70	○	○	○					
		個別テスト等 特色加点	○	15	15						☆
	後期日程	共通テスト	70	○	○	○					
		個別テスト等 特色加点	○	15		15					☆
	学校推薦型選抜 I (佐賀県枠)	基礎学力試験	○	40							
		小論文	○			20					
		面接 推薦書 志望理由書 調査書	◎							30	
										10	
	総合型選抜 I	適性検査	○				36				
		活動実績報告書									
		小論文	○			18					
		面接 志願理由書 調査書	○					28			
	総合型選抜 II (小学校教育主免専攻)	共通テスト	91	○	○	○	○				
		志望理由書					(9)		(9)		
		活動実績報告書					(9)				(9)
調査書		○				○					
総合型選抜 II (中学校教育主免専攻)	共通テスト	93	○	○	○	○					
	志望理由書					(7)		(7)			
	活動実績報告書					(7)				(7)	
	調査書	○				○					

- i. 数値は、各入試区分で評価する重み（総合点に対するおおよそ各配点のウエイト[%]）
- ii. ◎は、点数化はしないが、段階評価するもの（合否、ABCなど）
- iii. ○は、間接的に評価したり、内容を確認するもの
- iv. ☆は、加点評価

■教育支援探究コース

- ① 高等学校で修得すべき幅広い知識・技能と、これらを踏まえた基本的な思考力・判断力
- ② 国内に限らずグローバルな視点で情報収集、情報発信できる英語の読解力と表現力
- ③ 専門分野の内容を深く理解するために必要な数学あるいは国語に関する知識・技能と、これらを踏まえた思考力・判断力・表現力
- ④ 専門分野に関する文献や資料等の読解力と理解力及び自らの考えを論理的にまとめる表現力
- ⑤ 特別支援教育の分野に関する学習意欲
- ⑥ 教師を目指そうとする意思
- ⑦ 自ら学びを深めようとする行動や姿勢を通して、本学部の教育・研究活動を活性化できる可能性

入学後の学習に必要な能力や適性		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
学力3要素との対応		「知識・技能」「思考力等」			「主体性等」			
選抜 方法	前期日程	共通テスト	70	○	○	○		
		個別テスト等	○	15	15			
		特色加点						☆
	後期日程	共通テスト	70	○	○	○		
		個別テスト等	○	15		15		
		特色加点						☆
	学校推薦型選抜 I	基礎学力試験	○	25				
		小論文	○			25		
		面接					25	
推薦書						25		
	調査書	◎						

- i. 数値は、各入試区分で評価する重み（総合点に対するおおよその各配点のウエイト [%]）
- ii. ◎は、点数化はしないが、段階評価するもの（合否、ABCなど）
- iii. ○は、間接的に評価したり、内容を確認するもの
- iv. ☆は、加点評価